

北里大学病院・北里大学東病院(旧)を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (受付番号/承認番号)	アルコール性肝硬変と高齢肝硬変に合併した食道胃静脈瘤治療後の生存率・再発率に関する多機関共同後ろ向き調査
当院の研究責任者 (所属・職位)	北里大学病院 消化器内科 講師 魚嶋晴紀
他の研究機関および各施設の研究責任者	東京女子医科大学足立医療センター 検査科・光学診療部 古市好宏
本研究の概要・背景・目的	日常臨床におけるアルコール性肝硬変と非アルコール性(ウイルス性)肝硬変に合併した(または、若年者と高齢者に合併した)食道胃静脈瘤に対する内視鏡治療後生存率(及び再発率)の違いを明らかにすることを目的とします。
調査データ 該当期間	2001年1月1日から2022年1月31日までの情報を調査対象とします。
対象となる患者さま	上記期間内にて北里大学病院の消化器内科で食道胃静脈瘤と診断され、内視鏡治療を受けられた方。
研究の方法 (使用する試料等)	利用する情報 2001年1月1日から2022年1月31日までの電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します。
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	多施設共同研究であり、下記の研究機関・研究責任者へ、加工された状態で電子的配信として提供する。 東京女子医科大学足立医療センター 検査科・光学診療部 古市好宏 提供元機関の名称及び機関長の氏名 北里大学病院・病院長 高相晶士
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。 本研究の遂行のための費用は消化器内科学研究費で賄われます。 本研究に関する利益相反および学内研究費の使用は、北里大学利益相反委員会で審査を受け適切に管理されます。
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先: 所属・職位:消化器内科 講師 担当者:魚嶋晴紀(ウオジマ ハルキ) 電 話:042-778-8111
備 考	